

ひびき灘開発株式会社

I 法人の概要（平成 24 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市若松区浜町一丁目 18-1

2 設立年月日

昭和 48 年 2 月 21 日

3 代表者

代表取締役社長 南立 朝彦

4 資本金

1,365,500 千円

5 北九州市の出資金

670,000 千円（出資の割合 49.1%）

6 役職員数

- ・役員数 14 人
 - うち常勤 4 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）
 - うち非常勤 10 人
- ・職員数 63 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）

II 平成 23 年度事業実績

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷からは緩やかに回復しつつあるものの、欧州の債務問題や急激な円高、タイ洪水の影響などにより、先行きは不透明な状況で推移した。

北九州地区の経済は、自動車産業の好調を背景に高水準で推移したが、海外経済の減速や円高を背景に生産水準が低下している業種が広がっていることから、全体としての景気回復ペースは鈍化した。このような経済情勢のもと、当社の廃棄物処理事業においては、企業の厳しい収益環境やリサイクルの推進等もあり廃棄物搬入量が減少したが、土地評価損や税金費用の減少などにより、当期の業績は前期を上回るものとなった。

当期の廃棄物搬入量は、自社部門及び受託部門ともに廃棄物全般にわたり減少した。自社部門の搬入量の合計は 353 千トンで、前期を 33 千トン（8%）下回った。受託部門は、前期あった民間の大型工事からの土砂の搬入がなかったことなどの影響により、搬入量の合計は 167 千トンで、前期を 101 千トン（37%）下回った。全体では 520 千トンを受入れ、前期を 134 千トン（20%）下回ることとなった。

この結果、廃棄物処理収入の合計は、36 億 40 百万円で、6 億 51 百万円（15%）前期を下回った。

土地分譲については、1.5 ヘクタールを売却し、2 億 99 百万円の売却収入を上げることがで

きた。

その他事業収入として、北九州市エコタウンセンターの管理運營業務の受託収入が 49 百万円、R 1 号倉庫及び土地の賃貸収入が 19 百万円あった。

以上により、売上高の合計は 40 億 9 百万円で、前期を 3 億 50 百万円（8%）下回った。

費用面では、受託部門の廃棄物搬入量が大幅に減少したことに伴い、市納入金が 2 億 10 百万円減少したことや自社部門の減価償却費が 1 億 9 百万円減少したことなどにより、廃棄物処理原価は 16 億 79 百万円となり、前期比 4 億 92 百万円（22%）の減少となった。また、前期に引き続き販売用土地及び仕掛土地の収益性低下による評価損 2 億 76 百万円を販売用土地売上原価に計上したため、売上原価の合計は 22 億 92 百万円となり、前期比 5 億 55 百万円（19%）の減少となった。

以上の結果、経常利益は 12 億 22 百万円で前期を 1 億 80 百万円（17%）上回った。

当期純利益は、前期に計上した仕掛土地の評価損の認容などにより、法人税等の負担が減少したため、9 億 27 百万円となり、前期を 5 億 66 百万円上回った。

Ⅲ 平成23年度決算

1 貸借対照表

平成24年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
流動資産	7,767,815,511	流動負債	563,057,489
現金及び預金	166,298,127	買掛金	96,779,867
売掛金	352,571,190	短期借入金	290,490,000
有価証券	580,000,000	未払金	64,993,904
販売用土地	2,112,059,767	未払費用	45,735,494
仕掛土地	4,430,522,246	未払消費税等	28,517,300
前払費用	6,829,330	前受金	11,013,170
従業員短期貸付金	1,480,000	預り金	6,352,138
未収金	10,629,863	賞与引当金	19,175,616
未収還付法人税等	88,579,165		
繰延税金資産	18,945,823		
貸倒引当金	▲ 100,000		
固定資産	2,044,212,722	固定負債	1,595,112,723
(有形固定資産)	(525,404,259)	長期借入金	1,201,169,000
建物	136,088,347	退職給付引当金	393,359,348
構築物	189,298,837	役員退職慰労引当金	584,375
機械及び装置	37,485,607	負債合計	2,158,170,212
船舶	23,437,229	純資産の部	
車両運搬具	737,027	科目	金額
工具器具備品	9,373,492	(純資産の部)	円
土地	128,533,720	株主資本	7,653,858,021
建設仮勘定	450,000	資本金	1,365,500,000
(無形固定資産)	(1,240,649,061)	利益剰余金	6,288,358,021
護岸利用権	1,044,565,833	その他利益剰余金	6,288,358,021
公有水面埋立権	177,066,670	特定災害防止準備金	120,624,092
ソフトウェア	17,830,072	別途積立金	4,000,000,000
電話加入権	1,161,287	繰越利益剰余金	2,167,733,929
電気通信施設利用権	25,199		
(投資その他の資産)	(278,159,402)		
投資有価証券	1		
出資金	300,000		
長期貸付金	135,004,220		
差入保証金	16,570,000		
特定災害防止準備積立金	186,436,000		
繰延税金資産	71,893,401		
貸倒引当金	▲ 132,044,220	純資産合計	7,653,858,021
資産合計	9,812,028,233	負債・純資産合計	9,812,028,233

2 正味財産増減計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日 (単位:円)

科 目	金 額	
	円	円
売 上 高		
廃棄物処理収入	3,640,715,272	
販売用土地売上高	299,874,300	
その他事業収入	68,994,973	4,009,584,545
売 上 原 価		
廃棄物処理原価	1,679,043,640	
販売用土地売上原価	548,721,901	
その他事業原価	64,773,562	2,292,539,103
売 上 総 利 益		1,717,045,442
販売費及び一般管理費		484,998,114
営 業 利 益		1,232,047,328
営業外収益		
受取利息配当金	832,215	
貸倒引当金戻入益	1,349,715	
雑 収 益	15,084,452	17,266,382
営業外費用		
支 払 利 息	8,200,941	
支 払 手 数 料	2,505,454	
雑 損 失	16,158,444	26,864,839
経 常 利 益		1,222,448,871
特別損失		
固定資産除却損	1,837,828	1,837,828
税引前当期純利益		1,220,611,043
法人税、住民税及び事業税		255,000,000
法人税等調整額		37,665,359
当 期 純 利 益		927,945,684

IV 平成24年度事業計画

平成 24 年度予算について、収入の主体となる自社の廃棄物搬入量については、直近の排出企業とのヒアリングをもとに、計画の見通し量 30 万トンを超す 31 万トンとした。土地分譲については、2 月末に 1,969 m²、売買代金 38 百万円の契約を締結し、引き渡しは 4 月末になることから、これと合わせて 2 億円を分譲目標とした。支出に関しては、平成 23 年度に引き続き、廃棄物処理にかかる委託業務の一部を固定費から変動費へと変更した。嵩上げに関しては、安全性の確保と埋め立てや水処理の低コスト化を図るため、最適な埋立て工法の検討や高濃度の COD 浸出水の処理方法の検討などを継続していく。新たなものとしては、平成 23 年 4 月に竣工した 2 号地の不動産取得税、固定資産税および登録免許税が発生する。また、平成 25 年 2 月に会社創立 40 周年を迎えるにあたっての記念行事開催費用なども盛り込んでいる。

売上高は 35 億 13 百万円を計上している。そのうち、廃棄物処理収入は 32 億 35 百万円を見込んでいる。自社部門については排出事業者とのヒアリングにより 31 万トン、受託部門については北九州市環境局の計画量により 16 万 3 千トンを見込んでいる。販売用土地売上高は 2 億 3 百万円を予定しており、土地分譲については、先行きの見通しは不透明であるが、すでに売買契約を締結した分と合わせて、約 1.1ha の売却に向けて努力する。その他事業収入は、R 1 号倉庫等の賃貸収入 20 百万円とエコタウンセンターの受託収入 49 百万円、メガソーラーの土地賃貸収入 4 百万円の合計 74 百万円を予定している。売上原価は 18 億 10 百万円を計上しており、うち廃棄物処理原価は 15 億 59 百万円となっている。経費科目 9 億 32 百万円には、環境未来税が 3 億 72 百万円、設備等の減価償却費が 3 億 50 百万円含まれている。販売用土地売上原価は、1.1ha の売却に相当する土地の帳簿価額である。その他事業原価は、R 1 号倉庫等の賃貸収入の原価 13 百万円とエコタウンセンターの受託収入の原価 48 百万円、土地賃貸収入の原価 2 百万円の合計 63 百万円を計上している。差引の売上総利益は、17 億 3 百万円を予定している。販売費一般管理費は、5 億 3 百万円を計上している。以上の結果、営業利益は 11 億 99 百万円となった。平成 24 年度末では、借入金残高は 12 億 1 百万円で、有利子負債は 33 百万円となる予定である。以上の結果、経常利益は 11 億 99 百万円、税引き後の純利益は 6 億 59 百万円を見込んでいる。

平成 24 年度の工事予算については、1 号地関連工事として 1 億 34 百万円を計上している。これは、雨水配水管工事に 1 億 32 百万円。北九州市港湾空港局からの要請を受けて、1 号地南側の一部を物流用地として整備するものである。1 号地社有地内への不法投棄を防止するため侵入防止柵の設置に 2 百万円を計上している。次に、2 号地・3 号地の処分場関連工事として、45 百万円を計上。2 号地、3 号地に接する外周道路が供用開始されるのに伴い、一般市民等の部外者が処分場内にみだりに立ち入るのを防ぐために、外周道路に接する境界敷地に侵入防止用の境界フェンスを設けるために 32 百万円を計上している。

V 平成 24 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
売上高	3,513,798
廃棄物処理収入	3,235,666
販売用土地売上高	203,640
その他事業収入	74,492
売上原価	1,810,506
廃棄物処理原価	1,559,706
販売用土地売上原価	186,982
その他事業原価	63,818
売上総利益	1,703,292
販売費及び一般管理費	503,544
営業利益	1,199,748
営業外収益	9,017
営業外費用	9,533
営業外利益	△516
経常利益	1,199,232
税引前当期純利益	1,199,232
法人税、住民税及び事業税	539,654
当期純利益	659,578

VI 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	南 立 朝 彦	ひびき灘開発株式会社
代表取締役専務	堀 川 政 樹	ひびき灘開発株式会社
常務取締役	山 田 勝 彦	ひびき灘開発株式会社
常務取締役	船 石 正 彦	ひびき灘開発株式会社
取締役	中 崎 剛	北九州市港湾空港局 局長
〃	今 永 博	北九州市環境局 局長
〃	石 松 秀 喜	北九州市産業経済局 局長
〃	岡 田 勝 彦	旭硝子株式会社北九州事業所 所長
〃	井 上 哲 男	三菱化学株式会社黒崎事業所 総務部長
〃	長 澤 国 広	電源開発株式会社若松総合事業所 所長代理
〃	清 水 広 康	株式会社住友金属工業 棒鋼・線材カンパニー 設備部長
〃	岩 下 将 弘	日本コークス工業株式会社北九州事業所 副所長
監査役	鈴 木 清 継	ひびき灘開発株式会社
〃	廣 瀬 隆 明	新日本製鐵株式会社八幡製鐵所 総務部長
〃	檀 上 理 志	株式会社みずほ銀行北九州支店 公金部長